

学校便り

瀬底っ子

がじゅまる

本部町立瀬底小学校
 幼稚園 瀬底693番地
 TEL(47)2208fax(47)6419
 園児 9名 児童 58名
 職員 18名
 発行：校長 島袋 ゆかり

瀬底の宝 美しいサンゴ礁の海

様々な立場の方から学ぶ

七月八日の総合の時間、五・六年生を対象に瀬底の海の学習を行いました。初のリモート授業で、講師に東京大学大学院理学研究科教授（東京大学附属海洋研究センター副センター長）の茅根創教授、そして海の環境教育プランナー（元東京大学研究員）の浪崎直子さんをオンラインでお招きしました。瀬底の海は世界中のサンゴ礁の研究者やダイバーが訪れる有名な場所、東京大学からもここ十年来、毎年大学生が研究のために訪れているとのこと、私自身初めてその凄さを知って驚きました。

この授業は、二日後に行われるシュノーケリング体験につながる大事な学習で、当日お世話になる武方雅人さん（保護者・ダイビングショップ経営）と、関口正樹さん（保護者OB・ダイビングショップ



経営）のお二人も講師として実践的な指導をしていただきました。武方さんからは、この職業を選んだきっかけや仕事のやりがい、仕事内容についてのお話もあり、技術面以上に、色々なことに対応できる能力が必要だということを知りました。どの職業にもつながる能力で、子供たちは食い入るように聞いていました。

授業の最後には、OSUの研究員（元琉球大学瀬底研究施設勤務）の中野義勝先生からも、美しい瀬底のサンゴ礁を守るために、一人一人ができるかを考えるきっかけになればいいなとおっしゃっていました。

千野精一郎さんの進行で行われた授業でしたが、後半はサンゴクイズもあり、楽しみながら多くのことを学習しました。

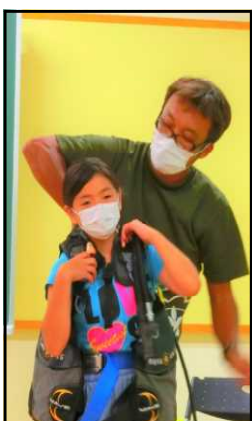
理科教育・環境教育・ふるさと教育・キャリア教育など、多くの学びがありました。この授業を踏まえて、二日後にはシュノーケリング体験を行いました。これまで以上に瀬底や自分自身のことを深く考えている子供たちがいることを期待しています。
 ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



実際のお仕事

- お客さんを広告・ホームページなどで集める。
- 右へ左へ電話やメールで希望を聞き、それに合った案内の計画を立てる。
- 船の準備をする。潮の流れを知り、安全に案内できる場所を探す。
- 船の道具を点検する。道具の点検のチェックをする。
- お客さんとの合わせ、お話しを聞く。健康チェック。
- お客さんと一緒に船に乗り、作業中を記録する。
- 時には一緒にごはんを食べる、おしゃべりをする。
- どんな魚が見られたかを一緒に記録をする。
- 船材を洗い、メンテナンスする。
- 船の底に付いた汚れを洗う。
- 安全にガイドできるようにトレーニングや勉強をする。
- 船の免許・インストラクターの免許の更新をする。
- 海の勉強を今でもずっと続ける。

とっても大変！！



瀬底の海と子供たちに思いを寄せて・・・

ボランティアの方々に感謝!

今回の一連の学習は、多くの方々のご厚意により実現しました。打ち合わせから船や道具の調達、体験当日、とすべてに関わってくださった千野精一郎さん、武方雅人さん、関口正樹さん、高崎進さん。シュノーケリング体験の指導・撮影・ガイド等でお世話になった伊豆原啓史さん、西川伸明さん、秋本瞳さん。子供たちの安全面・体調管理面で見守ってくくださった保護者の千野祐子さん、武方菜美さん、田所慶子さん。そして、キャリア教育の視点で体験学習にアドバイスをいただいた本部町グッジョブの平方幸夫さん。

これだけの方がボランティアで結集して、子供たちのために体験学習が実施できる瀬底の凄さを実感しています。今後もこの素晴らしい体験学習が継続的にいけるよう、保護者や地域と協力して学習プログラム開発に取り組んでいきたいと思っております。皆さま方のご協力に心より感謝申し上げます。



事前学習・シュノーケリング体験 検討会議のメンバー

